



2022年7月29日

各位

会社名 セーラー万年筆株式会社
 代表者名 代表取締役社長 町 克哉
 (コード番号 7992 東証スタンダード市場)
 問合せ先 専務取締役経営企画本部長 末谷 元
 (TEL 03-6670-6601)

2022年12月期第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年2月17日に公表いたしました2022年12月期第2四半期(累計)業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2022年12月期通期業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,800	100	90	55	3.77
今回実績 (B)	2,485	△1	10	△3	△0.20
増減額 (B - A)	△315	△101	△80	△58	—
増減率 (%)	△11.3	—	△88.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期第2四半期)	2,641	40	40	28	1.93

2022年12月期通期連結業績予想の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,800	150	140	80	5.48
今回修正予想 (B)	4,900	100	110	60	2.51
増減額 (B - A)	△900	△50	△30	△20	—
増減率 (%)	△15.5	△33.3	△21.4	△25.0	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,389	108	102	53	3.67

●業績予想と実績との差異並びに業績予想修正の理由

文具事業につきましては、万年筆及び万年筆用インクの売上が国内・海外ともに順調に推移し、売上高19億3千1百万円(前年同期比15.9%増)、セグメント利益6千万円となりました。一方、ロボット機器事業につきましては、半導体やプラスチック材料不足による部品調達の長期化などにより客先企業において減産や設備投資見送りが発生し、医療機器の特注装置に関しても設備投資がひと段落した影響等を受けて、売上高5億5千3百万円(前年同期比43.2%減)、セグメント損失6千1百万円と大幅な減少となりました。この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、期初業績予想に対し11.3%の減少、営業損失1百万円となりました。

また、2022年12月期通期連結業績予想に関しましては、文具事業の業績は引き続き順調に推移することが見込まれるものの、ロボット機器事業の受注回復は次年度以降になると予想され、文具事業において収益認識基準における代理取引額が想定を上回り売上高が減少している影響も考慮して、通期連結売上高予想額49億円(前回予想比15.5%減)となりました。利益面につきましては、原材料費の高騰を一部製品の値上げ等の施策により吸収をはかるとともに、設備計画の見直し、経費削減策の実行等により、通期連結営業利益1億円(前回予想比33.3%減)、通期連結経常利益1億1千万円(前回予想比21.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益6千万円(前回予想比25.0%減)に修正いたします。

以上